

水産物の市況について(令和4年1月及び令和4年2月)

—東京都中央卸売市場における令和4年1月(令和3年12月21日～令和4年1月20日集計)の市況と、
令和4年2月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和4年1月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月よりやや減少し、前年同月比ではやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや強含みで推移し、前年同月比では強含みで推移しました。

II 令和4年2月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量は銀さけ主体に横ばい、卸売価格はやや強含みと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

生鮮品の東京への入荷量は引き続き低調、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。冷凍品の東京への入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

水揚げは低調な状態が続くと予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格は冷めばち・きはだを主体に高値・横ばいで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	1月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
4年	29	1,467	32	1,362	33	1,232
前年	33	1,232	31	1,189	30	1,116

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	1月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	644	112	170	172
さけ類(平均)	1,223	109	147	127
(ぎんざけ塩蔵品)	1,004	101	127	106
(あきさけ塩蔵品)	1,003	103	248	137
(べにざけ塩蔵品)	1,582	95	125	127
(さけ類冷凍品)	1,274	113	155	135
さば(生鮮品)	499	116	130	111
するめいか(平均)	1,074	59	122	122
(生鮮品)	1,240	113	141	142
(冷凍品)	931	100	109	102
あじ(生鮮品)	564	112	108	96
まぐろ(冷凍品)	1,817	96	131	117
(めばち冷凍品)	1,343	101	136	118
(きはだ冷凍品)	1,054	98	89	113
(くろまぐろ冷凍品)	3,475	95	124	108
(みなみまぐろ冷凍品)	2,018	96	128	105
かつお(生鮮品)	1,311	108	125	98
さんま(生鮮品)	902	100	113	178

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:1月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成29年～令和3年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 賛田、西村

直通 03-3591-5613